

## 第4期富山県食育推進計画の進捗状況の概要

&lt;基本目標&gt;

「県民の健康で豊かなくらし」と「持続可能な食」の実現

推進施策	主な指標	これまでの主な取り組み	今後の方向性
I 多様なライフスタイルに対応した食育県民運動の展開			
<p>1 食育推進運動の展開と推進体制の充実</p> <p>◇新たな日常やデジタル化に対応した食育推進運動の展開</p> <p>◇食育推進体制の充実</p> <p>◇SDGsの理念を踏まえた食育の推進</p>	<p>上段は目標値 (R8) 下段は直近値 ( ) は前年・前回値からの増減</p> <p>○「食育」に関心がある県民 (成人) 目標：95%以上 R5：93.5% (+3.1%)</p> <p>○カロリーやバランスを考慮して食事をする県民 (成人) 目標：70%以上 R5：59.6% (+5.3%)</p> <p>○富山型食生活を実践している県民 (成人)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ご飯を1日に1回以上食べる 目標：100% R3：92.4% (▲1.5%) (※)</li> <li>・野菜を1日に350g (小鉢5皿程度) 取る 目標：50%以上 R3：21.3% (▲5.4%) (※)</li> <li>・魚介類を1日に1回以上取る 目標：80%以上 R3：98.3% (+29.9%) (※)</li> </ul> <p>※ 県民健康栄養調査より。概ね5年ごとの調査で、( ) はH28からの増減。ただしR3はコロナ禍のため、調査方法及び集計方法が異なり、単純比較できない。</p>	<p>◇デジタル化に対応した食育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「食育やってみよう!!ハッシュタグキャンペーン」の実施により、<b>食育の実践を推進</b> (R6応募総数172件)</li> <li>・富山型食生活レシピを富山短期大学と共同で作成 (2,000部) し、YouTube (10動画) で発信</li> </ul> <p>◇食育推進体制の充実、SDGsの理念を踏まえた食育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント等において、県・農業法人協会やJA中央会と連携し、<b>米の生産コスト上昇の現状や県産農産物を「買って応援」する必要性を周知</b>するパネルの展示やチラシを配布</li> <li>・「栄養の日(8/4)・栄養週間(8/1-8/7)」を中心とした栄養バランスの良い食生活の普及・啓発</li> <li>・各地域(厚生センター)による食育推進連絡会や研修会・出前イベントの実施 (8回) 関連教材の整備・貸出し (56回)</li> <li>・<b>食育リーダー (栄養士等61人・団体が登録※R6.9時点)</b> の研修(年2回) 及び地域の講演会・研修会への派遣 (36回)</li> <li>・県栄養士会とも連携し、イベント会場や県内大学、専門学校等での<b>ベジチェックによる野菜摂取量測定会など野菜摂取の啓発</b> (延べ約1,300人)</li> <li>・<b>とやま食育フェア2024</b>を初めて開催 (11/23・24) し、食育を啓発 <b>来場者約6,000人</b> (クッキングショーや体験イベント参加者)</li> </ul> <p>料理研究家・YouTuberのリュウジ氏による<b>クッキングショーを実施</b> (地元食材を活用した簡単な調理実践に加え、「食育」とは地元の食材を知ること、地元の食材を使うことが地元の農業の応援につながる、材料を無駄なく使うことで食ロスが減ることなどを発信)</p> <div data-bbox="943 1604 1252 1923"></div> <p>ホテルイカ等の解剖体験</p> <div data-bbox="1347 1604 1685 1923"></div> <p>ブース展示 (富山県食生活改善推進連絡協議会)</p> <div data-bbox="1768 1604 2047 1923"></div> <p>ベジチェックによる野菜摂取量測定会</p> <div data-bbox="1952 1230 2398 1566"></div> <p>地元食材を活用したクッキングショー</p> <div data-bbox="2041 508 2398 739"></div> <div data-bbox="1816 747 2398 1146"></div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活が疎かになりがちな若い世代に向けたデジタル活用による食育の情報発信、普及・啓発</li> <li>・生産コストの現状の正しい情報発信による、県産農産物の活用促進</li> <li>・富山県栄養士会や富山県食生活改善推進協議会等の関連団体との連携による食育推進</li> </ul> <div data-bbox="2469 1243 2831 1486"></div> <p>栄養の日イベントにおける栄養相談</p>

II 生活のあらゆる場面での心身の健康を支える食育の推進

2 家庭における食育の推進

- ◇望ましい食習慣の形成に向けた普及啓発
- ◇家庭における楽しい食生活の実践と支援
- ◇多様なライフスタイルに対応した取り組みやすい食育の推進

○朝食を欠食する県民の割合  
(小学校5年生)  
目標：限りなくゼロに近づける  
R5：1.3% (+0.3%)  
(中学校2年生)  
目標：限りなくゼロに近づける  
R5：3.3% (+0.7%)  
(20歳代)  
目標：5%以下  
R3：6.7% (▲4.7%) (※)  
(30歳代)  
目標：5%以下  
R3：11.9% (+8.1%) (※)

3 学校・保育所等における食育の推進

- ◇学校給食等を通じた食育の推進
- ◇家庭・地域等と連携した食育の推進
- ◇豊かな農林水産資源を生かした食の体験の推進

○家族で朝食また夕食を取る県民  
(成人)  
目標：95%以上  
R5：95.3% (+2.7%)  
○脂肪から摂取するエネルギー比率  
(20歳代)  
目標：20%以上 30%未満  
R3：28.2% (▲0.1%) (※)  
(30歳代)  
目標：20%以上 30%未満  
R3：28.7% (+1.6%) (※)

4 地域・職場における食育の推進

- ◇地域全体で食育に取り組む体制の充実
- ◇健全な食生活や生活習慣の確立に向けた食育の推進
- ◇健康寿命延伸に向けた食育の推進
- ◇地域における共食の推進
- ◇災害に備えた食育の推進

○食塩の1日当たりの摂取量  
(男性)  
目標：7.5g 未満  
R3：12.1g (+1.1g) (※)  
(女性)  
目標：6.5g 未満  
R3：10.3g (+1.2g) (※)  
○肥満者 (20～60歳代男性)  
目標：25%以下  
R3：31.8% (+2.3%) (※)  
○低体重者 (20～30歳代女性)  
目標：15%以下  
R3：14.8% (▲8.3%) (※)  
○低栄養傾向 (BMI20以下) の高齢者の割合  
目標：20%以下  
R3：18.3% (+3.2%) (※)

◇望ましい食習慣の形成

- ・「食育ランチマット」や「食育カレンダー」を活用した「毎日しっかり朝ごはん運動」の推進
- ・「とやまゲンキッズ作戦 健康づくりノート」を活用した、子どもの望ましい生活習慣や食習慣の形成に向けた啓発

◇家庭における楽しい食生活

- ・「とやま子育て応援団」制度 (協賛店舗数2,003) の推進による「家族そろっての食事」の普及・啓発



食育ランチマット (小学1年生全員配布)



食育啓発カレンダー (県内小・中・高・特別支援学校に配布)

- ・「とやま子育て応援団」制度の推進による、「家族そろっての食事」の普及・啓発

◇学校給食等を通じた食育、食の体験

- ・栄養教諭を増員 (R3：53人→R6：60人) し、学校給食を「生きた教材」として活用した食に関する指導の充実
- ・農業体験や生産者との会食、学校給食への県産食材の活用拡大に向けた体制整備等、学校・家庭・地域が連携した取り組みを実施
- ・地元の農産物や県内食材を積極的に使用する「学校給食とやまの日」を実施
- ・オーガニック給食の提供による食育推進 (6市町村)



学校給食とやまの日 (小矢部市の献立)



栄養教諭による授業風景

◇家庭・地域等と連携した食育

- ・子育て世代を対象とした食育講座への食育リーダー派遣等により、家庭内での望ましい食習慣の形成を推進

◇地域での食育、健全な食生活・生活習慣の確立

- ・若者世代を対象とした食育講座や調理体験等の食育実践活動の開催 (5回、77人参加)
- ・地域住民対象の「元気とやま食生活改善クッキング」の開催 (32回、883人)
- ・食生活改善チェックシートを活用した食育リーダー等による普及やイベントでの啓発
- ・「野菜たっぷりメニュー食べようキャンペーン」の実施 (飲食店の協力による普及啓発、R5 協力店 28店舗)
- ・「野菜をもう一皿！食べようキャンペーン」の実施 (小売店等の協力による普及啓発、R5 協力店 26店舗)



キャンペーンチラシ

◇健康寿命延伸に向けた食育

- ・野菜たっぷり、減塩、シニア向けのメニューを提供する「健康寿命日本一応援店」の紹介 (R5 登録店 64店舗)
- ・高齢者を対象とした食と健康や正しい食習慣に関する食育講座への講師の派遣
- ・高齢者の食支援を担う人材育成の講習会の開催や、低栄養予防の普及啓発媒体の作成・配布

◇共食

- ・こども食堂の設置支援 (R6.11における県内のこども食堂数：75箇所)

◇災害に備えた食育

- ・食育リーダーによる災害活動時における栄養補給等の講座の実施 (2回)
- ・防災クッキング等の調理体験・防災講座の実施 (9回)



低栄養予防の普及啓発に関するリーフレット

- ・教科等における授業や給食の時間における、充実した「食に関する指導」の実践

- ・HP や給食便り等を活用した積極的な情報発信や、学校給食試食会等の実施による家庭との連携

- ・主食・主菜・副菜のそろった栄養バランスのよい食生活の実践に向けた普及啓発

- ・外食・中食においてバランスの良い食事が選択できる食環境整備の推進

- ・関係団体との連携による地域高齢者の食支援を担う人材の育成及び、フレイル予防に関する情報発信・普及啓発

Ⅲ 持続可能な食を支える食育の推進

5 地産地消や食の循環、環境に配慮した食育の推進

- ◇地産地消を通じた農林水産業への理解促進
- ◇学校給食を通じた県産食材への理解増進
- ◇生産者と消費者の交流促進
- ◇食品ロス等の発生を減らす食生活の推進

- 県産品を意識して購入する県民の割合  
目標：80%以上  
R3：56.7%
- 直売所・インショップ販売額  
目標：45億円以上  
R5：42.6億円（+2.7億円）
- 地産地消アプリ「食ベトクとやま」ユーザー数  
目標：8,000人以上  
R5：8,499人（+2,899人）
- 学校給食における県産食材の活用率（野菜・果実等）  
目標：32%以上  
R5：23.1%（▲0.3%）
- 農林漁業体験者数  
目標：74,200人以上  
R4：39,206人（+8,390人）
- 食品ロス削減のための取組を行っている県民の割合  
目標：90%以上  
R5：88.6%（▲1.1%）

◇地産地消

- ・地場農産物の生産拡大支援とHP等での直売所・インショップの紹介
- ・「とやまの旬の応援団」の募集・登録（7,361個人・団体）・活動支援
- ・「とやまグルメ・フードフェス」での富山の食材や越中料理の紹介
- ・「地産地消キャンペーン」（応募数11,617件）とアプリを活用した旬情報の発信
- ・地場産品活用の商品開発や直売に取り組む**農村女性の起業支援**（女性起業195件）

◇学校給食

- ・学校給食における県産食材（有機農産物含む）の活用に向けた県と市町村の担当者（農林水産部局、教育委員会等）の意見交換会の開催（11/15）
- ・学校給食における青果市場から市町村に向けた県産食材情報の提供（県産野菜情報（月1回）、野菜の旬カレンダーの作成・配付（R7.3予定））
- ・富富富の学校給食での提供（R5：983トン）
- ・水産業への理解醸成に向けた高校生等への魚食セミナーの開催（14回）、県内小学5年生への副読本の配布、学校給食への魚の提供（31万7千食）

◇生産者と消費者の交流

- ・子どもや地域住民を対象とした**農林漁業体験**や**地場産食材を活用した料理教室の開催**（参加者1,723人、27箇所）

◇食品ロス

- ・商慣習見直しに係る実務研修会を開催
- ・「食ベきり3015運動」協力店（707店）及び「食ベきりサイズメニュー」導入店（798店）
- ・期限間近商品の優先購入促進キャンペーンを通じた食品ロス削減の県民への周知
- ・食品ロス削減推進計画ハンドブック、商慣習見直し事例集、子ども向けパンフレット作成
- ・小学校での食品ロス学習（10歳児対象、R5:68校、2,854人）
- ・**フードドライブの推進**（R5：66団体 15市町村で103件実施（イベント70件、常設33件））
- ・**フードバンク活動の拡大**（賛同企業数 R6.3時点43社、マッチング件数 R6：119件）
- ・子育て世帯等に向けたキャラクターを活用した動画による食品ロス削減の啓発
- ・サルベージ・パーティ（家庭で余っている食材を持ち寄って料理するイベント）の推進（R5：7回）

◇食文化の伝承

- ・「とやま食の匠」の登録（190個人・団体：特産の匠80、伝承の匠59、創作の匠51）、とやま食の匠による教室の実施（13回、83人参加）
- ・「三世代ふれあいクッキングセミナー」を開催（70回実施、2,643人参加）

◇新たな食文化の創造

- ・富山県ふるさと認証食品の認証とイベントやホームページ等でのPR（累計認証数（R6.3時点）：42品目・390商品）
- ・地域の農林水産物を活用した**加工・直売等の6次産業化**の取組を支援（5件）

◇安全な農林水産物の供給

- ・食品表示講習会の開催、研修会等への講師派遣により、**食品関連事業者等への適正な食品表示を指導**（11回）
- ・「食品表示ウォッチャー」による**食品表示実態調査の実施**（1,091店舗）

◇食に関する情報の理解

- ・食品安全フォーラムの開催 参加者150名（会場76名、オンライン74名）  
R6テーマ：「どう向き合う？健康食品～知ろう 考えよう 食品安全～」
- ・「とやま食育フェア」、「とやまグルメ・フードフェス」で食品安全に関する情報発信
- ・食の安全・安心ホームページの運営（食品安全や表示等に関する情報提供）



県産品に貼られる地産地消シール



農林漁業体験の様子



フードドライブの常設回収ボックス

- ・「食ベトクとやま」を活用した**積極的な情報発信**や「地産地消キャンペーン」の拡充
- ・「とやまグルメ・フードフェス」での富山の食材や料理の紹介

- ・生産現場と学校給食関係者の**情報共有・連携強化**により**県産食材の活用拡充**を図る

- ・若い世代を中心に、**農業体験**を通じて**農業や食への関心**を高める

- ・さらなる削減に向け、フードチェーン全体での取組を推進
- ・世代・ライフスタイルに応じた普及啓発により県民の取組を促進
- ・フードバンクの利用促進に向けた地域や団体との連携推進及びフードドライブの認知度向上に向けた啓発等

6 魅力ある食文化の継承・創造

- ◇富山の伝統的な食文化の伝承
- ◇新たな食文化の創造

- 「とやま食の匠」の伝承活動参加者数  
目標：400人以上  
R5：83人（+21人）
- 「富山県ふるさと認証食品」新規認証数  
目標：10商品程度  
R5：15商品（+8商品）

◇食文化の伝承

- ・「とやま食の匠」の登録（190個人・団体：特産の匠80、伝承の匠59、創作の匠51）、とやま食の匠による教室の実施（13回、83人参加）
- ・「三世代ふれあいクッキングセミナー」を開催（70回実施、2,643人参加）

◇新たな食文化の創造

- ・富山県ふるさと認証食品の認証とイベントやホームページ等でのPR（累計認証数（R6.3時点）：42品目・390商品）
- ・地域の農林水産物を活用した**加工・直売等の6次産業化**の取組を支援（5件）



6次産業化とやまの魅力発信事業 開発商品

- ・SNS等での発信を中心に**制度のPR**を実施

- ・地産地消キャンペーンと連動させた**制度のPR**を実施

7 食の安全確保の推進

- ◇安全な農林水産物等の供給
- ◇食に関する情報の理解促進

- 食品表示が適正な店舗の割合  
目標：100%  
R5：96.9%（▲0.3%）

◇安全な農林水産物の供給

- ・食品表示講習会の開催、研修会等への講師派遣により、**食品関連事業者等への適正な食品表示を指導**（11回）
- ・「食品表示ウォッチャー」による**食品表示実態調査の実施**（1,091店舗）

◇食に関する情報の理解

- ・食品安全フォーラムの開催 参加者150名（会場76名、オンライン74名）  
R6テーマ：「どう向き合う？健康食品～知ろう 考えよう 食品安全～」
- ・「とやま食育フェア」、「とやまグルメ・フードフェス」で食品安全に関する情報発信
- ・食の安全・安心ホームページの運営（食品安全や表示等に関する情報提供）



食品表示に関するワークショップ（食育推進全国大会）の様子

- ・重点指導業種への**指導強化**

- ・食品表示ウォッチャーによる**食品表示監視業務の継続**

- ・消費者への**リスクコミュニケーション**の場の拡大、**若い世代への啓発**